

人生のスタートを孤立 させない

2021年6月24日首相官邸

NP0法人子育てひろば全国連絡協議会
認定NP0法人びーのびーの
奥山千鶴子

子育て家庭の孤独

- 子育てが辛いんじゃない。子どもたちはかわいい。
でも不安や孤独で押しつぶされそうで、どうしようもない時がある。
- 頼れる人のいない土地。子どもにつきっきりの
長く心細い一日。
ろくに家事もこなせず、うつろに考え込む。
自分の存在は一体何の価値があるのだろう。
孤独感が高まるにつれ、自信を失っていった。



追い詰められ、自信を失う

ひろば全協発行
「子育てひろば0123育ちの詩」から

24時間休みなしの育児。「この子は、自分を困らせるためにいるのでは？」こんな考えがよぎる自分に罪悪感を覚える。

知り合いもおらず、地理もわからない土地で子育てのスタートはとても辛かった。家の中で赤ちゃんを抱えひどく追い詰められていたと思う。

産休前は教師としてバリバリ働いていたのに、社会からの疎外感。息子はアトピー。それでも周囲に弱さを見せられずにいた。

息子はトラブルメーカー。「私の育て方のせいなのか」とひどく落ち込んだ。

地域子育て支援拠点事業

- ◎対象者 概ね就園前の乳幼児とその養育者
- ◎設置数 全国に、7, 500か所以上
- ◎場所 保育所等、公的施設、児童館、商業施設、一戸建て・空き家活用等
- ◎法的根拠 児童福祉法、子ども・子育て支援法

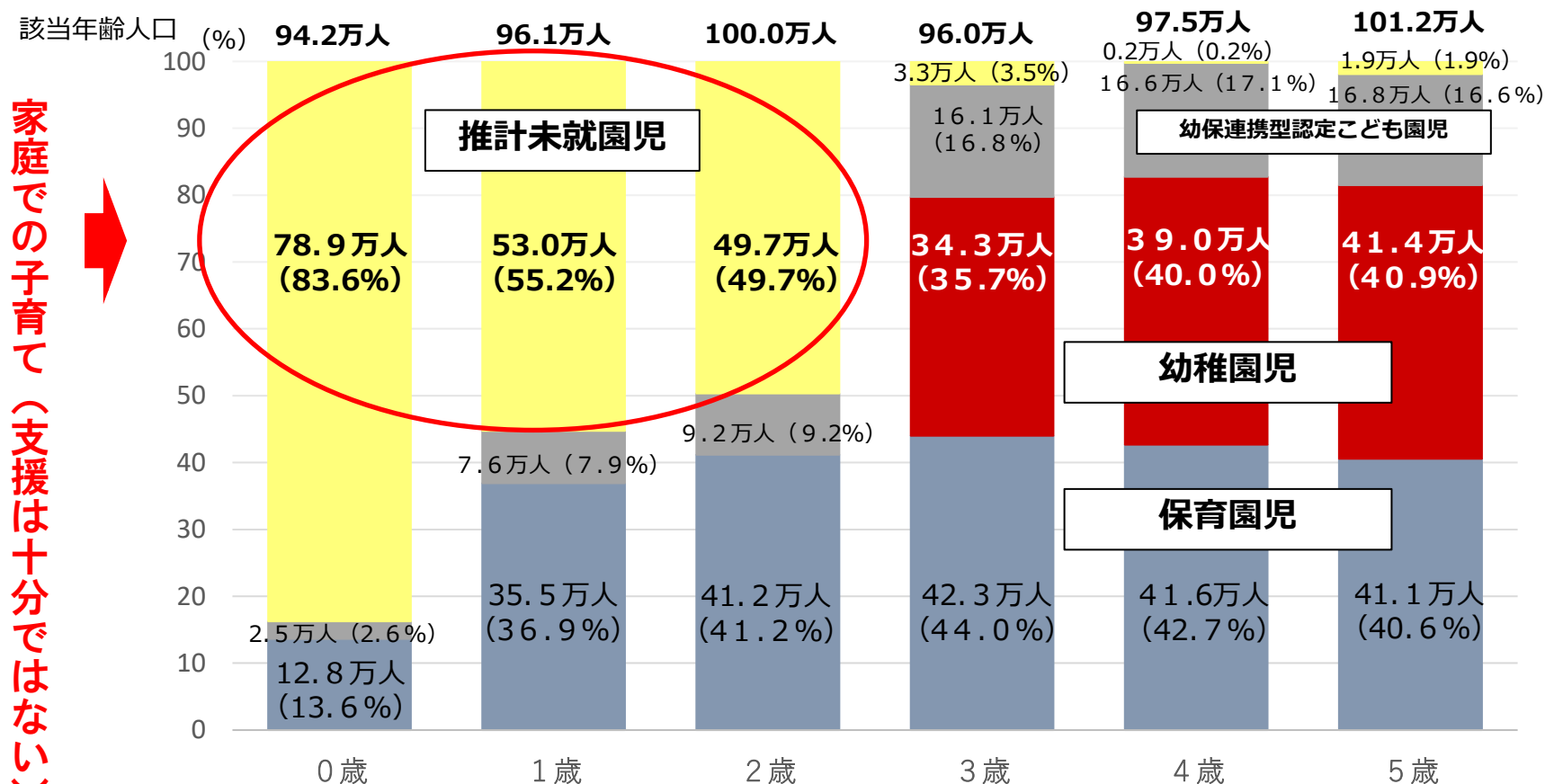
乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場を提供し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業



保育所、幼稚園等の年齢別利用者数及び割合

令和3年4月23日
社会的養育専門委員会資料

保育園と幼稚園の年齢別利用者数及び割合（R1）



※該当年齢人口は総務省統計局による人口推計年報（平成30年10月1日現在）より。

※幼保連携型認定こども園の数値は令和元年度「認定こども園に関する状況調査」（平成31年4月1日現在）より。

※「幼稚園」には特別支援学校幼稚部、幼稚園型認定こども園も含む。数値は令和元年度「学校基本調査」（確定値、令和元年年5月1日現在）より。

※保育園の数値は令和元年の「待機児童数調査」（平成31年4月1日現在）より。なお、「保育園」には地方裁量型認定こども園、保育所型認定こども園、特定地域型保育事業（家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業）も含む。4歳と5歳の数値については、「待機児童数調査」の4歳以上の数値を「社会福祉施設等調査」（平成30年10月1日現在）の年齢別の保育所、保育所型認定こども園、地域型保育事業所の利用者数比により按分したもの。

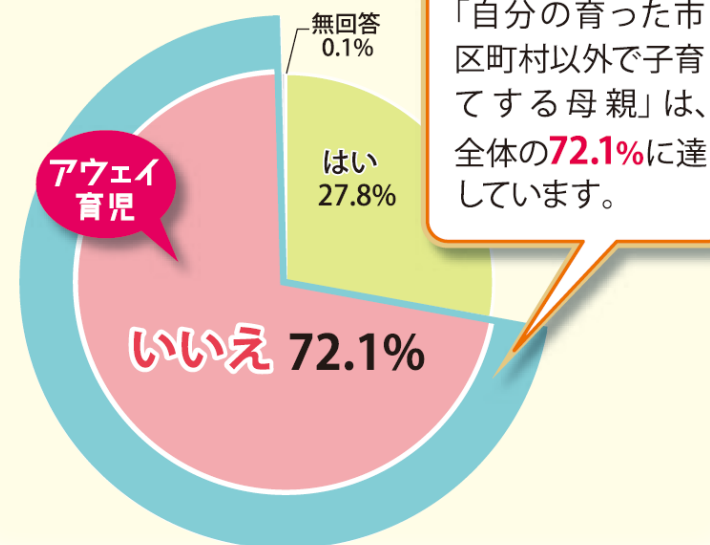
※「推計未就園児数」は、該当年齢人口から幼稚園在園者数、保育園在園者数及び、幼保連携型認定こども園在園者数を差し引いて推計したものである。

※四捨五入の関係により、合計が合わない場合がある。

地域子育て支援拠点における「つながり」に関する調査研究

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
「地域子育て支援拠点事業に関するアンケート調査2015・2016」より作成
回答：172団体、利用者1,175人

Q. あなたが育った市区町村で、現在子育てをしていますか？



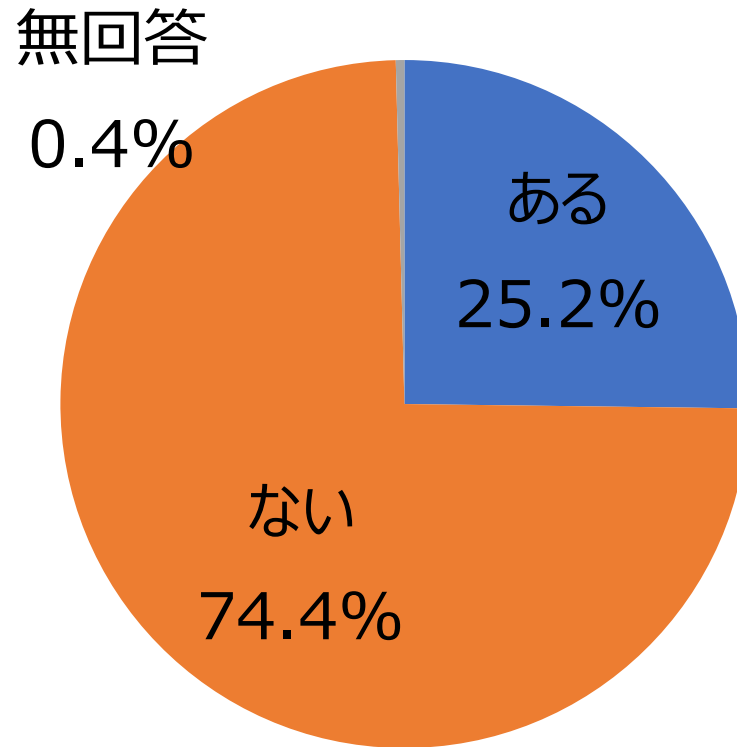
Q. 近所で子どもを預かってくれる人はいますか？

いいえ はい



赤ちゃんの世話の経験

Q. はじめてのお子さんが生まれる前に、赤ちゃんの世話をしたことがありましたか。

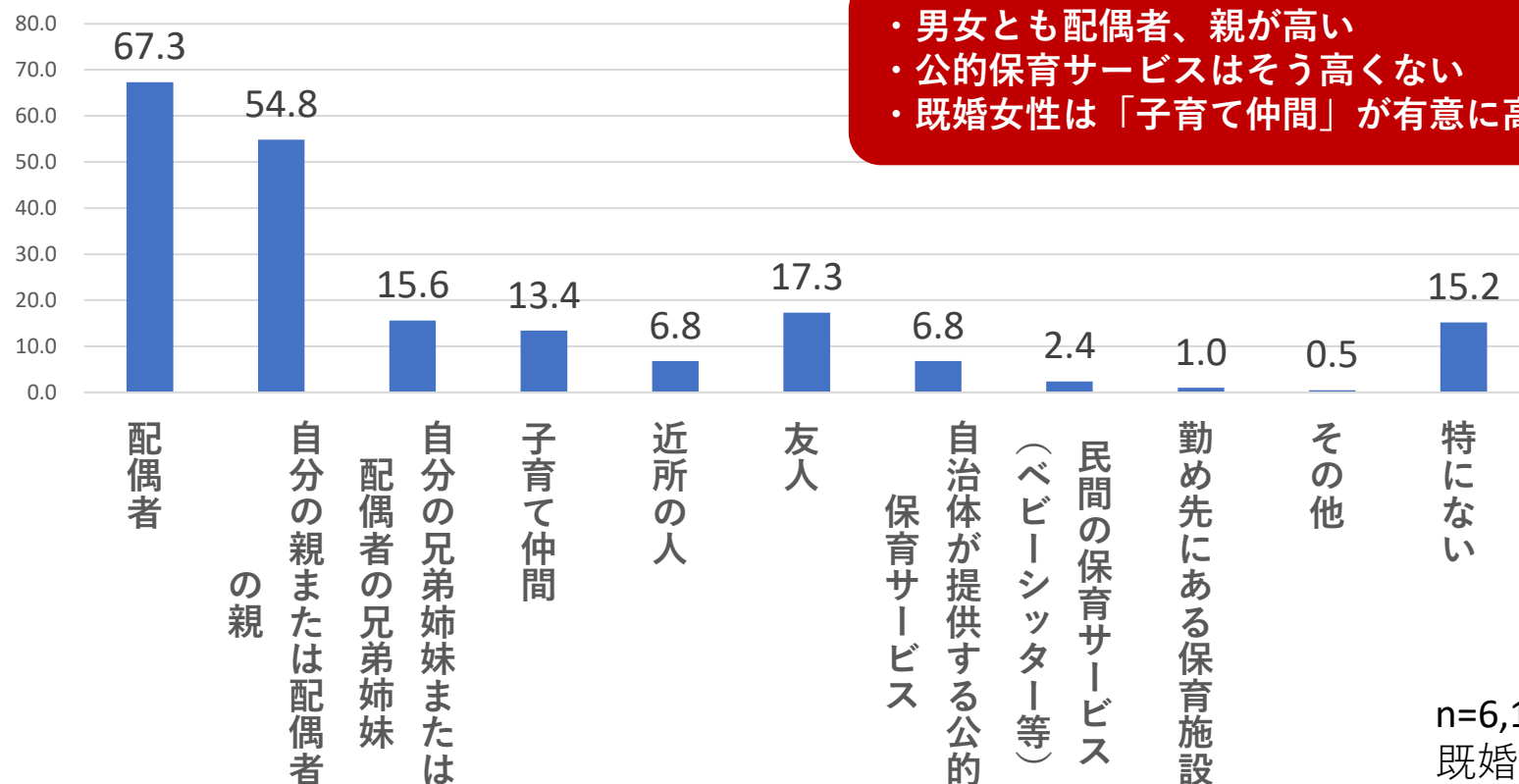


未就学児保護者への調査
平成30年 N=28,721

平成30年11月実施「横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」より作成

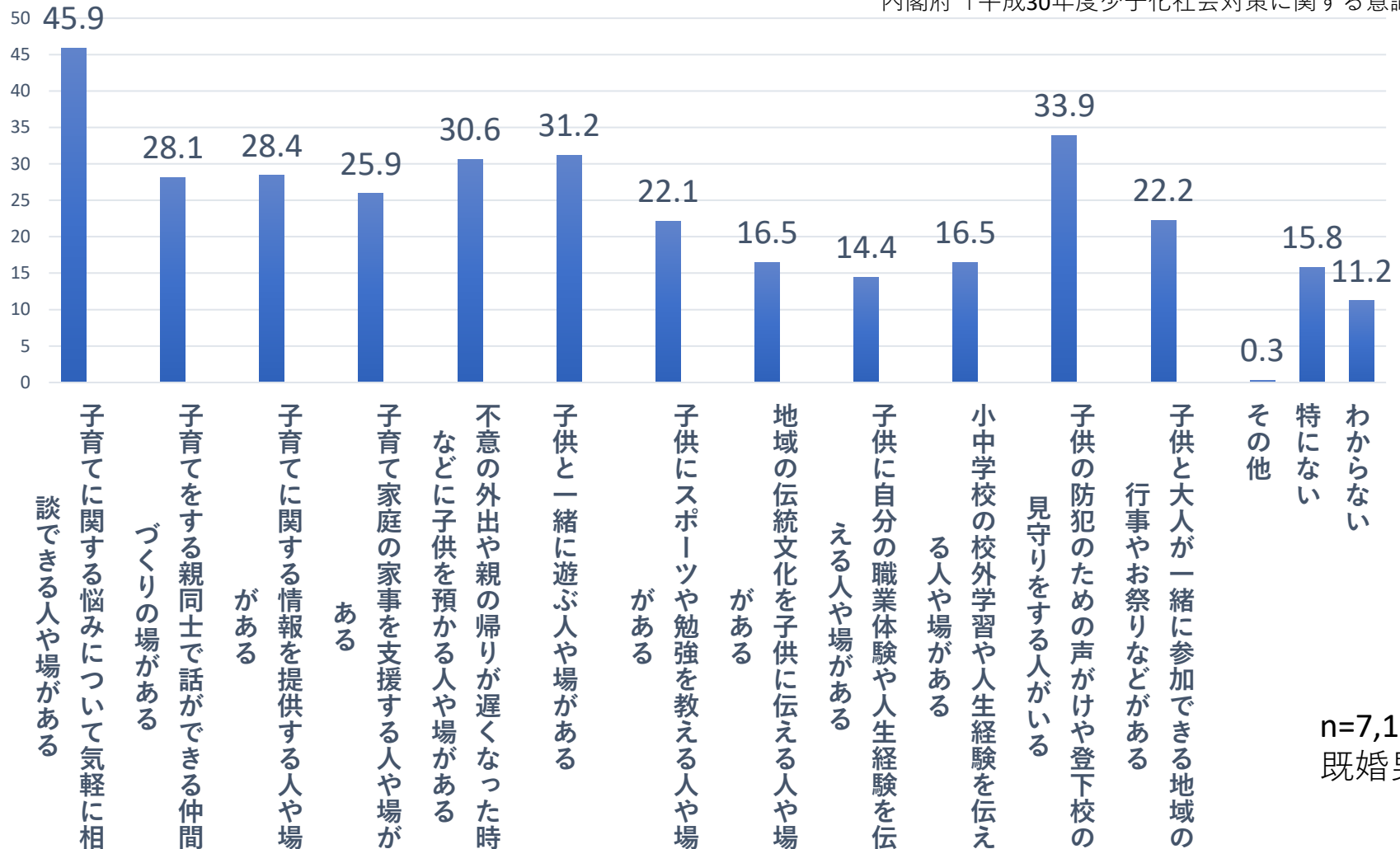
子育て世代が考える子育てを助けてくれる者

Q. あなたが子育てに対して感じる肉体的・精神的負担について、
周囲で助けてくれる人(複数回答)



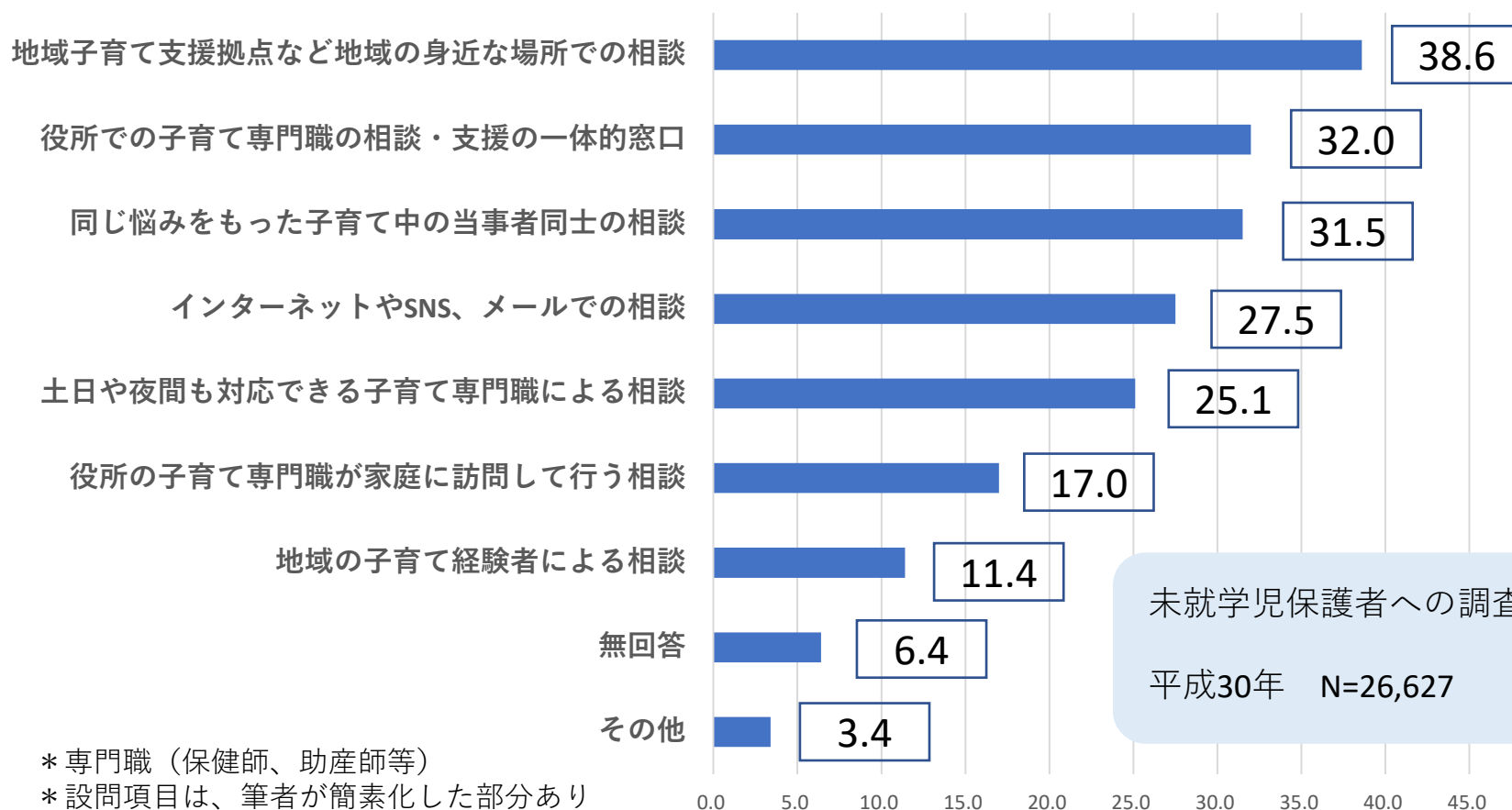
地域で子育てを支えるために重要だと思うこと(複数回答)

内閣府「平成30年度少子化社会対策に関する意識調査」



子育ての困りごとを相談しやすい相談先

平成30年「横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」

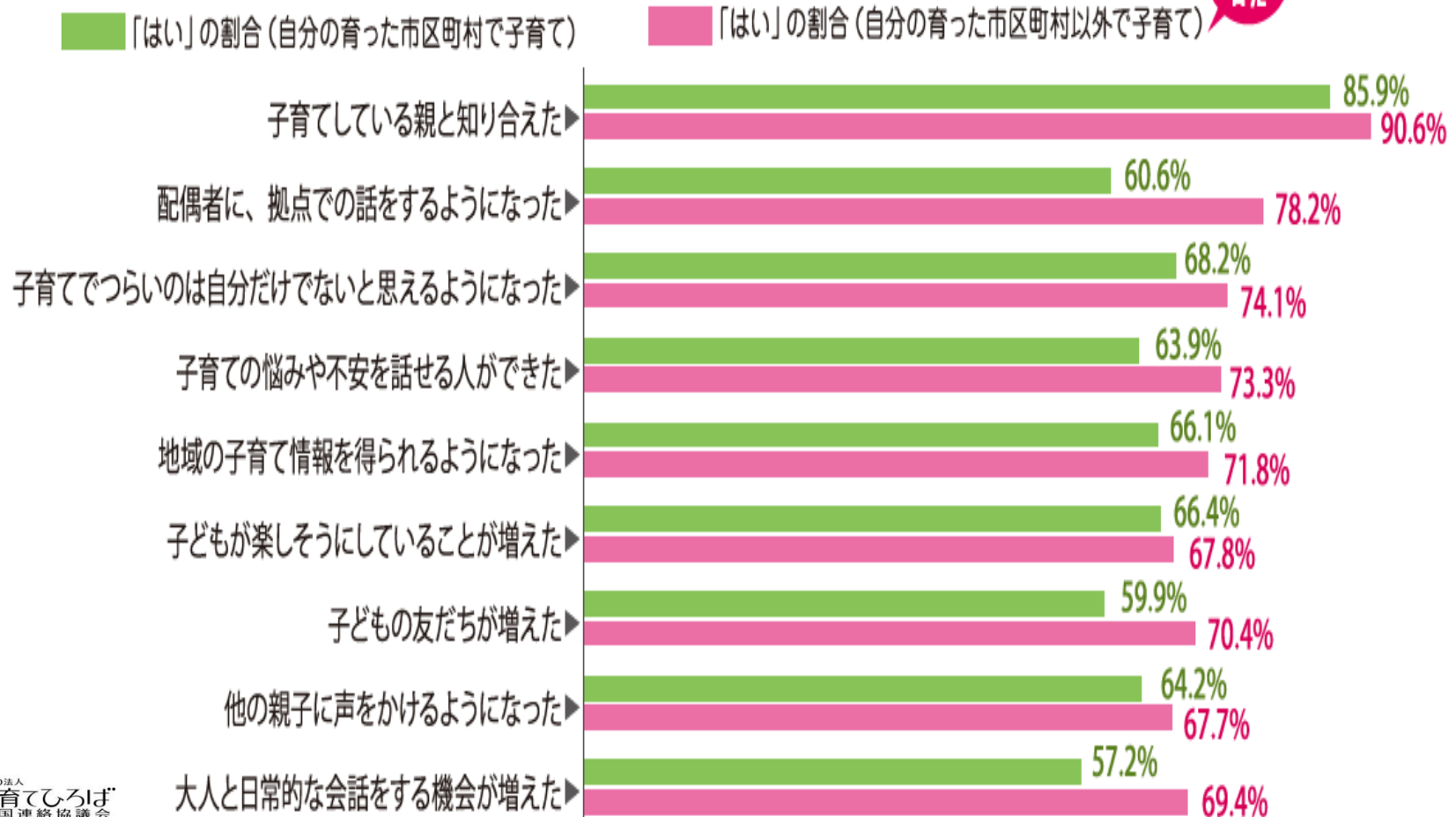


地域子育て支援拠点における「つながり」に関する調査研究事業

「地域子育て支援拠点事業に関するアンケート調査 2015・2016」

Q. 地域子育て支援拠点を利用した後のあなたとあなたの子どもについて、得られたこと、変わったことなど、次の文章の中で少しでも当てはまることすべてに○をつけてください。

アウェイ
育児



アウェイ育児から生涯のつながりへ

自分が育った市区町村以外で子育てをしている母親たち。



知り合いのいない土地で母親を感じる孤立感、手助けが得にくい中での子育ての負担感。

日々、地域子育て支援拠点の支援者は、数多くの母親から切実な声を受け止めています。

自分の生まれ育ったまちから離れた場所での子育ては、物理的な手助けの不足にとどまらず、心理的に孤立しているという状況をもたらし、「アウェイ感」を母親に与えているものと考えられます。
(ひろば全協理事 調査研究担当)



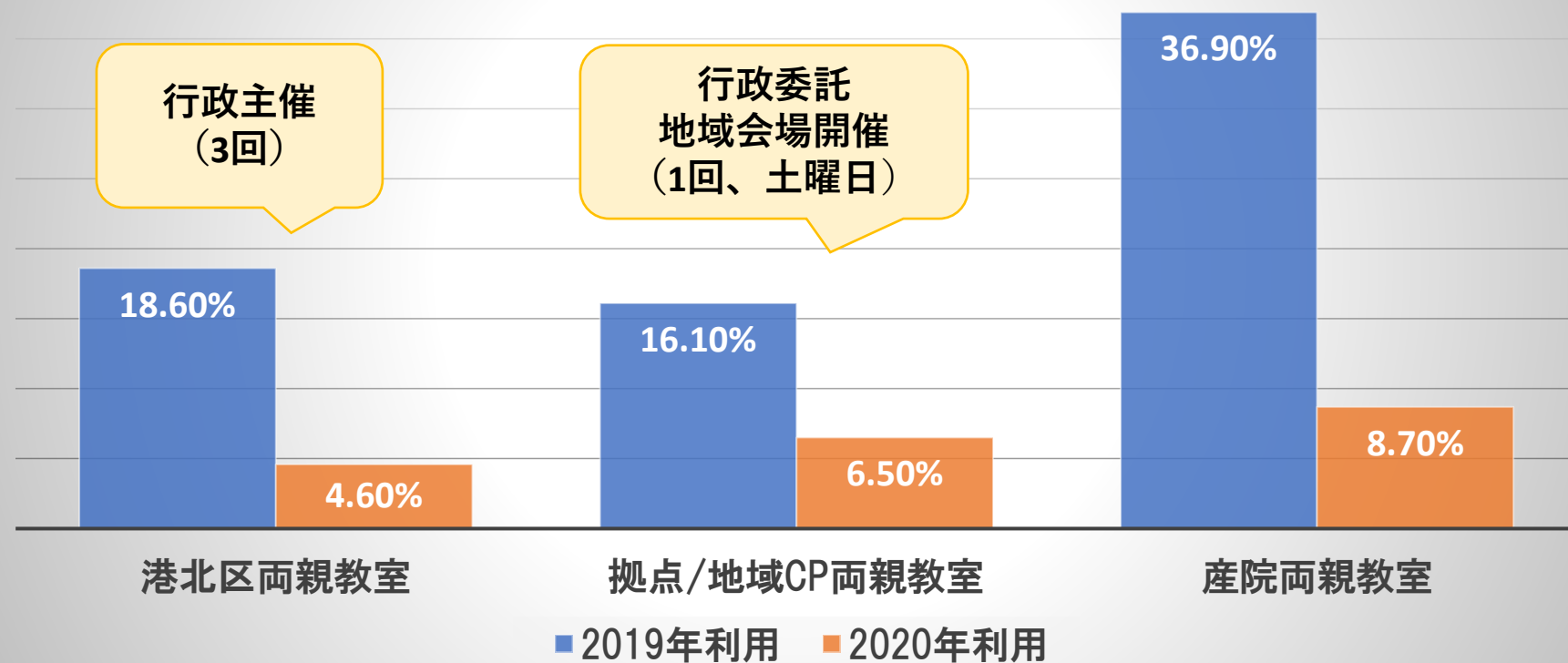
地域子育て支援拠点で生まれる「つながり」とは、親子が自己肯定感を育み
家庭を超えた広がりを持ち 地域社会の一員として 生涯にわたり
安心と信頼に基づくあたたかい関係性の連鎖を自ら紡ぎだす一歩である

コロナの影響を受ける、出産前後の子育て家庭 (横浜市港北区、妊娠期の両親教室の利用状況に関する2か年比較)

調査実施時期:2020年10月～11月(6～7月生まれ) アンケート配布数:400 回収数:368 (回収率92%)

港北区地域子育て支援拠点どろっぴと港北区役所が協働で実施

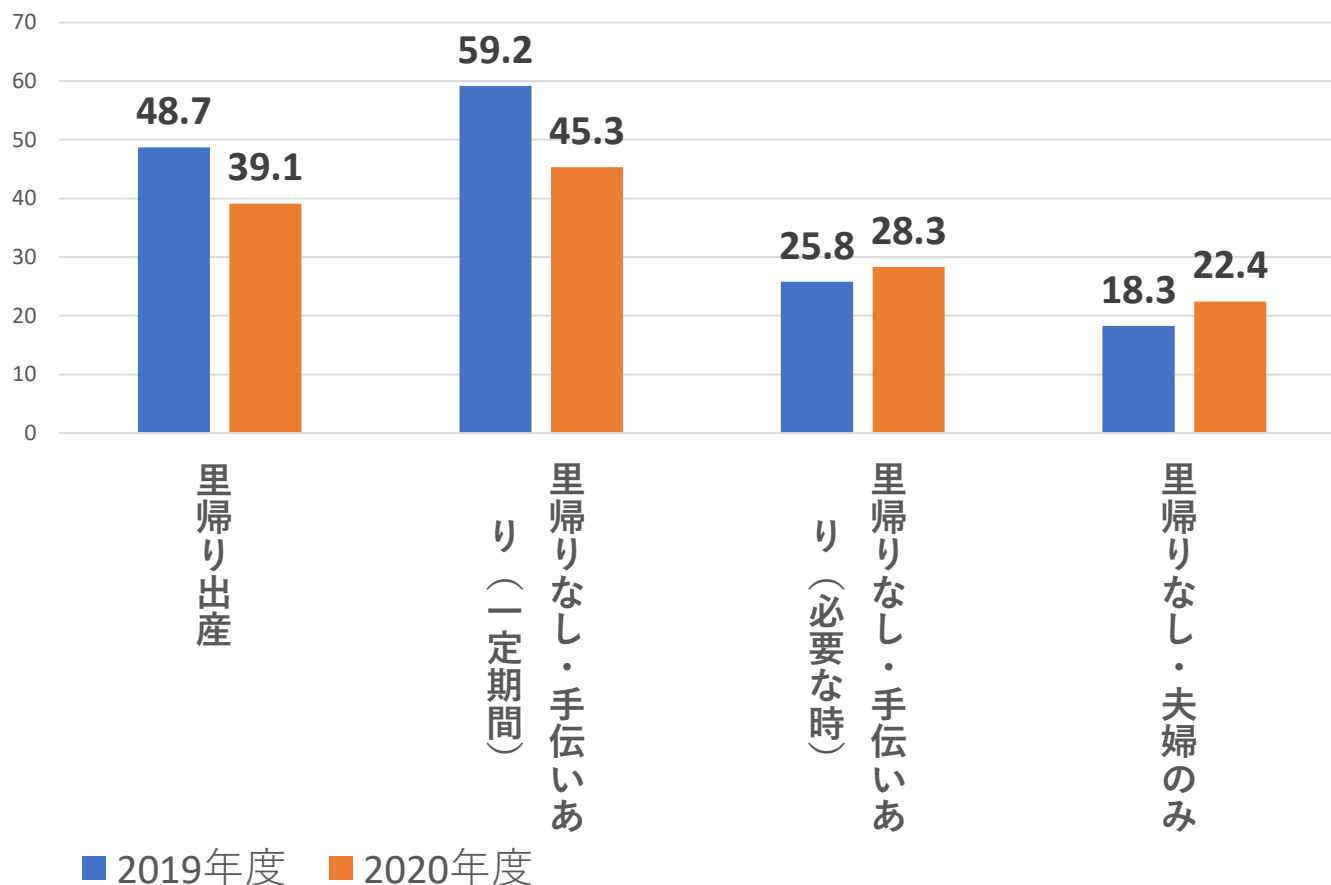
妊娠期の両親教室利用状況



コロナの影響を受ける、出産前後の子育て家庭 (横浜市港北区、里帰りの状況と手伝いの有無に関する2か年比較)

調査実施時期:2020年10月～11月(6～7月生まれ) アンケート配布数:400 回収数:368 (回収率92%)

港北区地域子育て支援拠点どろっぷと港北区役所が協働で実施



出身地:

・母親が横浜市外
(アウェイ育児)

73.4%

・両親とも横浜市外
59.8%



©港北区ミズキー



人生のスタートを孤立させない！

引っ越してきて、知り合いもいません。地域情報がSNSでキャッチできません。
働いています。土日開催の両親教室はありますか？
親族に頼めません。産後ヘルパーを申し込みますか？
お金がかかります。産後の家事援助は、民間にしか頼めませんか？
敷居の低い相談場所はありますか？SNSでも聞いてくれますか？
親同士の交流の場はありますか？
希望すれば、子どもを預かってくれますか？
保育所等には希望すれば入れますか？
職場は、もっと夫婦の出産・子育てを応援してほしい。



子育て家庭の孤独・孤立は、赤ちゃんの人生のスタートの孤立でもあります。
人生のスタートが、地域や社会から祝福されるものであってほしい！

**人生の
スタートを
孤立させない
社会へ！**

次世代に、日本の子育てを自信をもって伝えていこう！

親子のひろばとの出会いは、大学でやりたいことを見失ってしまった私にとって、新しい刺激となりとても貴重な体験となりました。

ちいさな子どもたちと時間を共にする中で、大人になって忘れかけてしまった好奇心や、押し殺してしまうようになった喜怒哀楽が自分自身に必要なものであると実感しました。

ママさん方と話をすることが出来たおかげで、子育てがどれだけ人生を変えるのか、子どもが運んでくれる幸せを教えてもらうことができました。

